日経MJ
12月21日(月曜日)
月/水/金 発行

超小型EV実証実験

埼玉・上里町で地元VB

【さいたま】地元県上里町のベンチャー企業が開発する超小型の電気自動車（EV）の実証実験が同町内で始まった。地方圏の交通手段として実用化できるかを探る。関東地方の町村レベルで超小型EVの実証実験をするのは珍しいという。

町や町商工会などでつくる「上里町超小型モビリティ利活用推進協議会」が実験計画を策定。国土交通省の認定を得た。2014年3月末まで実験する。費用は約2億円。

先行メーカーなどを手掛けるプラン（上里町）の関連会社、HTM―J・P.R.D.（同、大村伸明社長）が開発した「こむすっちカー」＝写真＝を使う。長さ約2.5メートル、幅約1.2メートルの2人乗り。一般町民に2週間、無料で乗り回してもらい、出し入れ時の安全確認などを検証する。